

# 平成25年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年3月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社菊池製作所  
 コード番号 3444 URL <http://www.kikuchiseisakusho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 功  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岸田 俊邦

TEL 042-651-6093

四半期報告書提出予定日 平成25年3月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年4月期第3四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成25年1月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第3四半期	4,117	△15.3	△120	—	14	△95.3	13	△88.7
24年4月期第3四半期	4,860	—	322	—	315	—	120	—

(注) 包括利益 25年4月期第3四半期 126百万円 (43.4%) 24年4月期第3四半期 88百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第3四半期	3.68	—
24年4月期第3四半期	34.75	—

(注) 当社は、第3四半期の業績開示を前連結会計年度より行っているため、24年4月期第3四半期の増減率については記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第3四半期	7,935	—	5,249	—	66.1	—
24年4月期	7,541	—	5,196	—	68.9	—

(参考) 自己資本 25年4月期第3四半期 5,249百万円 24年4月期 5,196百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年4月期	—	0.00	—	—	—
25年4月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年4月期の連結業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,725	△8.8	5	△98.9	259	△48.4	178	△7.7	48.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年4月期3Q	3,695,900 株	24年4月期	3,695,900 株
② 期末自己株式数	25年4月期3Q	59 株	24年4月期	59 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年4月期3Q	3,695,841 株	24年4月期3Q	3,465,208 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、東日本大震災および原発事故からの復興需要等を背景に緩やかな回復傾向や新政権の経済政策への期待による円安基調への転換、株価の回復があったものの、海外経済の減速を背景として景気は総じて足踏み状態で推移しました。

このような環境の中、当社グループ製品が属する情報通信機器、精密電子機器業界におきましては、多様な技術革新の必要性は変わらず、新製品への開発投資は一部製品において抑制傾向があるものの、依然として継続されております。当社グループは、これらメーカーを顧客として、新規開発の試作品製造や新製品の量産製造を推進しており、自社一括一貫体制による、プロダクトデザイン、機構設計、金型製造、成形、加工にわたる製造工程と、「匠の技」と先端設備の融合による技術力をベースに、事業活動を展開しております。取引先の要求を満たしうる技術水準、品質、納期に対し、より一層の対応力を涵養することにより、メーカーからの信頼性を確保し、競合他社との差別化を徹底する事業戦略を遂行しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高及び受注の状況は、携帯電話、デジタルカメラ等の情報通信機器、精密電子機器メーカー、並びに複写機、プリンタ等の事務機器メーカーの研究開発及び生産の状況等厳しい経営環境を受け、新規開発試作品製造、金型製造、量産品製造全般で低水準の推移となりました。一方、介護・医療機器、新エネルギー関連分野において、「一括一貫体制」を強みとしたユニット・装置単位の受注が増加してきております。また、中長期的な当事業の成長に資するための研究開発活動として、アルミホットダイカストやマイクロフローデバイス技術の研鑽に積極的に取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,117百万円(前年同四半期比15.3%減)となり、利益面につきましては、売上総利益は647百万円(同43.7%減)、営業損失120百万円(前年同四半期は営業利益322百万円)となりました。以下、東日本大震災に係る東京電力株式会社からの受取補償金、スクラップ売却収入、助成金収入等の営業外収益195百万円(同150.1%増)を加算し、二本松工場遊休賃借費用、シンジケートローン手数料及び支払利息等の営業外費用60百万円(同29.2%減)を減じた結果として、経常利益は14百万円(同95.3%減)となりました。

東日本大震災に係る特別利益として、東京電力株式会社からの受取補償金38百万円を加算し、これに税金費用38百万円を計上した結果、四半期純利益は13百万円(同88.7%減)となりました。

セグメントの概況を示すと、次のとおりです。

#### ①試作・金型事業

携帯電話、デジタルカメラ等の情報通信機器、精密電子機器メーカーを顧客としておりますが、一部企業の新機種開発への投資が低水準に留まり、当社業績も厳しい展開となりました。この結果、売上高は2,764百万円(前年同四半期比0.7%減)、営業損失120百万円(前年同四半期は営業損失34百万円)となりました。

#### ②量産事業

携帯電話、コンパクトデジタルカメラ等の情報通信機器メーカーの一部製品の生産活動が低調に推移した結果、当社業績も低調な推移となりました。この結果、売上高1,347百万円(前年同四半期比34.7%減)、営業利益5百万円(同98.5%減)となりました。

③その他

ヘルスケア関連製品は、売上高5百万円(前年同四半期比52.3%減)、営業損失5百万円(前年同四半期は営業利益5百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産に関する事項

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、7,935百万円となり、前連結会計年度末比394百万円の増加(前連結会計年度末比5.2%増)となりました。うち、流動資産は、3,953百万円となり、前連結会計年度末比92百万円の減少(同2.3%減)となりました。これは、受取手形及び売掛金が73百万円減少(同3.6%減)、現金及び預金が375百万円減少(同24.4%減)し、仕掛品が160百万円増加(同180.8%増)したことが主な要因となっております。固定資産は3,982百万円となり前連結会計年度末比487百万円の増加(同13.9%増)となりました。

負債合計は、2,686百万円となり、前連結会計年度末比342百万円の増加(前連結会計年度末比14.6%増)となりました。うち、流動負債は、2,227百万円となり、前連結会計年度末比384百万円の増加(同20.9%増)となりました。これは、短期借入金が200百万円増加(同40.0%増)、未払金が157百万円増加(同124.6%増)したことが主な要因となっております。固定負債は、459百万円となり、前連結会計年度末比42百万円の減少(同8.5%減)となりました。

純資産は、5,249百万円となり、前連結会計年度末比52百万円の増加(同1.0%増)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月期の通期業績予想は、平成25年3月7日に修正発表いたしましたとおり、売上高5,725百万円、営業利益5百万円、経常利益259百万円、当期純利益178百万円と予測いたします。

また、当社の業績は、事業環境の変化等、現在および将来において様々なリスクにさらされております。本業績予想に織り込まれていない事象が発生し、財務上重要な影響があると判断した場合には、適宜ご報告いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更  
(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以降取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,542,002	1,166,105
受取手形及び売掛金	2,043,848	1,969,950
商品及び製品	66,373	136,391
仕掛品	89,044	250,041
原材料及び貯蔵品	102,774	113,735
繰延税金資産	53,972	21,587
その他	149,549	297,544
貸倒引当金	△1,830	△2,064
流動資産合計	4,045,734	3,953,291
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,068,441	2,147,170
減価償却累計額	△888,661	△951,250
建物及び構築物(純額)	1,179,780	1,195,919
機械装置及び運搬具	1,948,339	2,260,421
減価償却累計額	△1,155,696	△1,371,837
機械装置及び運搬具(純額)	792,642	888,584
土地	972,746	981,706
リース資産	4,489	4,618
減価償却累計額	△3,496	△3,678
リース資産(純額)	993	939
その他	251,148	580,672
減価償却累計額	△211,609	△236,874
その他(純額)	39,538	343,798
有形固定資産合計	2,985,701	3,410,947
無形固定資産		
ソフトウェア	46,346	27,299
その他	5,220	4,856
無形固定資産合計	51,567	32,156
投資その他の資産		
投資有価証券	356,504	437,699
繰延税金資産	6,926	—
その他	96,116	106,547
貸倒引当金	△1,431	△4,671
投資その他の資産合計	458,116	539,575
固定資産合計	3,495,386	3,982,679
資産合計	7,541,120	7,935,970

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	729,386	748,549
短期借入金	500,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	85,684	98,244
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	126,701	284,583
未払費用	108,444	83,855
未払法人税等	119,678	34,929
賞与引当金	103,047	58,050
その他	49,300	198,890
流動負債合計	1,842,243	2,227,103
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	165,105	120,622
退職給付引当金	7,219	8,006
役員退職慰労引当金	281,162	292,074
資産除去債務	4,523	4,566
その他	14,361	14,559
固定負債合計	502,372	459,828
負債合計	2,344,615	2,686,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	358,434	358,434
資本剰余金	252,594	252,594
利益剰余金	4,777,594	4,717,283
自己株式	△52	△52
株主資本合計	5,388,570	5,328,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,919	97,084
為替換算調整勘定	△224,985	△176,305
その他の包括利益累計額合計	△192,065	△79,221
純資産合計	5,196,505	5,249,038
負債純資産合計	7,541,120	7,935,970



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)
売上高	4,860,853	4,117,459
売上原価	3,710,301	3,469,623
売上総利益	1,150,552	647,835
販売費及び一般管理費	827,852	768,018
営業利益又は営業損失(△)	322,699	△120,182
営業外収益		
受取利息	241	136
受取配当金	7,409	8,577
助成金収入	16,246	20,868
スクラップ売却収入	37,268	27,517
受取補償金	—	126,720
その他	17,124	11,984
営業外収益合計	78,289	195,803
営業外費用		
支払利息	3,379	6,956
シンジケートローン手数料	7,900	7,531
設備賃借費用	3,456	363
二本松工場遊休賃借費用	27,782	32,652
株式交付費	7,670	—
株式公開費用	31,309	—
その他	4,213	13,171
営業外費用合計	85,711	60,674
経常利益	315,278	14,946
特別利益		
固定資産売却益	11	—
投資有価証券売却益	4	—
受取補償金	—	38,299
特別利益合計	16	38,299
特別損失		
固定資産除却損	4,855	152
投資有価証券評価損	68,817	799
東日本大震災関連損失	14,750	—
過年度関税	5,657	—
特別損失合計	94,080	952
税金等調整前四半期純利益	221,214	52,293
法人税、住民税及び事業税	46,909	11,051
法人税等調整額	53,873	27,635
法人税等合計	100,782	38,686
少数株主損益調整前四半期純利益	120,431	13,606
四半期純利益	120,431	13,606

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	120,431	13,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,977	64,164
為替換算調整勘定	△29,278	48,679
その他の包括利益合計	△32,255	112,844
四半期包括利益	88,175	126,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,175	126,450
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	試作・金型事業	量産事業				
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,785,005	2,065,317	10,530	4,860,853	—	4,860,853
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,101	—	—	1,101	(1,101)	—
計	2,786,106	2,065,317	10,530	4,861,954	(1,101)	4,860,853
セグメント利益又は 損失(△)	△34,601	352,037	5,077	322,514	185	322,699

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア製品の販売等です。

2 セグメント利益又は損失の調整額185千円は、過年度のセグメント間取引に係る未実現利益実現等によるものです。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成25年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	試作・金型事業	量産事業				
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,764,438	1,347,995	5,024	4,117,459	—	4,117,459
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,031	—	—	1,031	(1,031)	—
計	2,765,470	1,347,995	5,024	4,118,491	(1,031)	4,117,459
セグメント利益又は 損失(△)	△120,201	5,230	△5,373	△120,345	162	△120,182

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア製品の販売等です。

2 セグメント利益又は損失の調整額162千円は、過年度のセグメント間取引に係る未実現利益実現等によるものです。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。